

令和2年度パートナーシップのまちづくり推進会議
第1回会議結果報告書

会議の名称	パートナーシップのまちづくり推進会議第1回会議		
開催日時	令和2年10月12日(月) 午後7時00分～午後8時50分		
開催場所	茅野市ひとまちプラザ 3階集会室		
出席者	<p>【委員】 高木委員(副会長)、小池委員(副会長)、北原委員(副会長)、名取委員、山田委員、河西委員、八幡委員、原委員、笹岡委員、山田委員、牛山委員、三浦委員、池上委員、鷹野原委員、両角委員、平賀委員、塚田委員、渡辺委員、古賀委員、矢崎委員、長瀬委員、柳澤委員</p> <p>【市側】 今井市長(会長)、柿澤副市長、山田教育長、岩島市民環境部長</p> <p>【事務局】 田中パートナーシップのまちづくり推進課長、国枝コミュニティ推進係長、木川コミュニティ推進係主任、内山ちの地区コミュニティセンター所長、白鳥宮川地区コミュニティセンター所長、藤巻米沢地区コミュニティセンター所長、木川豊平地区コミュニティセンター所長、大蔵玉川地区コミュニティセンター所長、長岡泉野地区コミュニティセンター所長、小池金沢地区コミュニティセンター所長、小平湖東地区コミュニティセンター所長、北澤北山地区コミュニティセンター所長、鋤柄中大塩地区コミュニティセンター所長、有賀市民活動センター長、野明市民活動推進係長、小平情報政策係長、守屋福祉21推進係長、金井美サイクルセンター次長、宮下こども係長、田中男女共同参画担当兼国際交流推進担当</p>		
欠席者	伊藤文化芸術係長		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍聴者の数	0人
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
会長	<p>1 開会 (司会進行 田中パートナーシップのまちづくり推進課長)</p> <p>2 会長挨拶 大変お忙しいところ、第1回パートナーシップのまちづくり推進会議にお集まりいただき、誠にありがとうございます。 さて、今年はコロナ禍ということで、年の前半のほとんどは、感染症自体がどういものかわからない、マスクや消毒液も手に入らない状況の中、どのように対応していくか模索する中で終わってしまった。年の後半は、WITH コロナ、アフターコロナに向けて、どのような形で様々な活動を行っていくか準備を始めた段階です。市内では、様々な行事や会議を開催できませんでした。皆様にも様々な思いがあるのではないかと思います。 新型コロナウイルスについて、様々なことを考えさせられたり、新たな発見もあります。いずれにしても、我々は新型コロナウイルスと上手に付き合いながら、できるだけ従来の活動に近づけていく努力をしていかなければいけないと感じています。 一方で、新たな気付きという中から、新しいパートナーシップのあり方のヒントが出てくるかもしれない。本日は皆さんで話をする中で、一つの方向性が見え</p>		

	てくれればと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。
事務局	<p>新しい委員の皆さまもおられますが、自己紹介は省かせていただきます。限られた時間ではありますが、後ほどグループワークの中で自己紹介をして始めていただければと思います。</p> <p>それでは、会議事項に移ります。ここからは会長に進行をお願いいたします。</p>
会長	<p>3 会議事項</p> <p>(1) 準備委員会からの報告について</p> <p>それでは会議事項に移ります。準備委員会からの報告をお願いします。</p>
副会長	<p>この新型コロナウイルス感染症が拡大する状況の中で、非常に難しい、手探りの状態で準備してきました。当初、準備委員会で確認した内容が実現できず、改めて準備委員会の機会を設けました。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大の中で、様々な市民活動が控えられている、あえて言えば萎縮している部分もあるのではないかという声が聞こえました。ぜひ、この会議を行う中で、前向きに対応していきたいというのが準備委員会のメンバーの思いです。</p> <p>この後、事例発表がございますが、その内容についても準備委員会で検討してきました。一つは、玉川ケヤキフェスの取り組みについてです。二つ目が、ほろ酔い座談会の取り組みについて。最後に新型コロナウイルス感染期における活動再開の考え方についてです。</p> <p>玉川ケヤキフェスについては、私自身も、ちの地区コミュニティ運営協議会会長として統括する立場で、玉川地区の取り組みについては非常に興味を持っていて、参考にさせていただくことが多いだろうと考え、二度ほど話し合いに参加させていただいた経緯がございます。そういった意味で、この取り組みについてはこの先も非常に意義のあるものだと考えていて、取り上げさせていただきました。</p> <p>本日は、様々な主体による協働の取り組みの事例ということでこれらを取り上げています。コロナウイルス対策について、改めてこの場で情報共有をし、これからの活動の方向を見出したいと思っています。</p> <p>難しい状況ではありますが、この会議が、それぞれの団体が一步を踏み出せるような礎になればと思います。よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>(2) 事例発表</p> <p>それでは事例発表に移ります。玉川ケヤキフェスの取組について、ほろ酔い座談会の取組について、新型コロナウイルス感染期における活動再開の考え方、それぞれ順に発表をお願いします。</p>
ケヤキフェス 実行委員	<p>①ケヤキフェスの取組について（15分）</p> <p><資料に基づき発表></p>
副会長	<p>②ほろよい座談会の取組について（10分）</p>

	<p>③新型コロナウイルス感染期における活動再開の考え方（10分） <「コロナ君、感染の旅をゆく」（福祉21茅野作成の公式パンフレット）に基づき発表></p> <p>（引き続き、副会長により（3）を進行）</p> <p>（3）パートナーシップのまちづくりの活動再開に向けて大切なこと ～活動再開に向けて大切なこと・わからないことをみんなで考える～</p>
副会長	<p>ここにおられる皆さんは、パートナーシップのまちづくりの活動に取り組んできたが、新型コロナウイルス感染症の流行によって、これまでの活動が継続できなくなったり、やろうとしたことができなくなっている状況だと思います。しかし、今日この場が開けたということは、このような形であれば集まることが可能であるということです。</p> <p>先日開催した白井出区のほろ酔い座談会もマスク着用で行いましたが、その後参加者が発症したということは聞いておりません。人が集まれないということはないということです。そうだとしたら、今後、地域、地区、区でどんなことができるだろうか。こんなところが不安だというようなことを各グループで話し合っていたいただきたいと思います。</p>
	<p>○グループワーク（30分） ・テーマ「～活動再開に向けて、今できること」 7つのグループで行う。</p> <p>○グループ発表</p>
副会長	<p>これから、グループの皆さんの話し合いの内容を発表していただきます。どんな意見が出ましたか。順次発表をお願いします。</p>
事務局員	<p>議論が一番盛り上がったのは、旗振り役がいないと進んでいけないのではないかということです。リーダーかもしれないし、役員かもしれませんが、そのような方がいて、やれない理由をつけるのではなく、どのように開催していくかをみんなで考えていくことが大事なのではないか、という話が出ました。</p> <p>最後に気になった内容は、周りの目の怖さも、新型コロナウイルス感染症の恐れの中にあるのではないかという点です。</p>
副会長	<p>ありがとうございます。それでは、発表した方は次の発表をするグループを指名してください。続けてよろしくをお願いします。</p>
事務局員	<p>最大の問題は成人式という話が出ました。式自体は様々な感染防止対策は行えるが、式が終わった後の皆さんの行動について、どれだけリスクを感じて行動できるかという点は心配です。</p> <p>そして、宮川地区では防災分野で活動を行っているが、各行政区へ出向いたり、研修を行ったりし始めている。リモートや書面決議だけではなく、顔を付け</p>

	<p>合せる会議も必要ではないかという話が出ました。</p>
副会長	<p>活動の意味をみんなが理解することが大切ということですね。宮川地区の事例は学びがあります。次のグループをお願いします。</p>
事務局員	<p>活動するにあたり、自分のことよりも家族への影響が心配で活動に参加することにためらいがあるという意見がありました。これまで行ってきた活動を来年にどうつないでいくかという悩みもあります。また、活動ができないと家にこもっている時間が長くなり、人との会話が減り、気持ちも沈んでしまう。ストレスが溜まってしまうのでは、と心配する意見も出ました。</p> <p>活動再開に向けて議論を深められていませんが、それぞれの活動において困っていること等を共有しました。</p>
副会長	<p>ありがとうございました。自分のことだけでなく、周りの人のことも考えると切実だと感じます。次のグループ発表をお願いします。</p>
委員	<p>これからの年末に向けて、区・自治会の総会の開催方法や高齢者への対策をどのようにしていくかという課題があります。</p> <p>コミュニティセンターを会場に、高齢者の昼食会を行っていた事業について、今年度はお弁当を配達するという内容に変えたという話があります。その際、ただ配るだけでなく、一人一人会話をしながら渡すことを意識していた。そういう気配りも大切ではないかと感じます。また、新型コロナウイルス感染症に感染してしまった場合の誹謗中傷についても、考えなくてはいけないと感じています。</p>
副会長	<p>ありがとうございました。次のグループの発表をお願いします。</p>
委員	<p>私たちの班には親子劇場の方や商工会議所の方がいます。親子劇場に関しては、長野県から8月頃に出されたガイドラインに従って活動を再開してきた。人数制限や会場を広い会場に変更したり、ひと手間が増えたということです。やはり、参加者の中には参加したくないという人もいるし、観光地等では風評被害を気にして、感染防止対策に注力しなくてはならず、お客様を呼び込むところまでできないところがあり、なかなか難しい状況であると感じています。</p> <p>これから年末を迎えるにあたり、飲食を伴った会合、イベント等について、どのようなことに気を付けていけばよいか教えていただければと思います。そういった対策の資料があれば、また教えていただきたいと思います。</p>
副会長	<p>ありがとうございます。続けてお願いします。</p>
事務局員	<p>このグループでは、活動することを前提に考え、新しい手法や工夫をもって活動していこうと話し合いました。リモート会議や対面の会議について、どのくらいのバランスで行うか考える必要もあるのではないかという意見が出ました。</p>
高木副会長	<p>続けて最後の班の発表をお願いします。</p>
委員	<p>行事を開催すること自体、責任が伴うので懸念材料ではあるが、先ほどの先生</p>

(副会長)の話にもありましたが、正しい知識をもって対応すれば、少しは解決できるのではないかと。

飲食を伴う場合は、フェイスシールドを使ったり、人と人の距離をあけて対応することもできるが、なかなか難しい。

会議についても、オンラインでも開催できるものもあるが、顔を合わせてやることも「つながり」ということから考えると大切なのではないかと。

それらのことを、今後活動再開していく中で考えていきたいと思えます。

○まとめ

副会長

全体の雰囲気としては、何かしら「つながり」を付けていきたい、活動を再開していきたい。それらを必要としている人もいる。一方で、怖いと感じたり、参加したくないという人もいる。それでも、「やってほしい」「始まったら行きたい」といった声があれば、たとえ従前の活動にならなくても、そういったニーズに応えることは、活動を主宰する立場としては考えていきたいですね。

集まってくれる方が安全に安心してきていただくために、「正しい知識」というものが大切です。正しく知ることが勇気、力、免疫になると考えると、正しい知識は「心のワクチン」になるのではないかと思います。

少しずつそういった知識が広がっていくことで道が開けていくと思うが、今日来た方々が、これから何ができるかと考えたときに、パンフレットも活用していただきたいと思えます。

みなさん心配されていた飲食を伴う活動についても少し記載があります。

(パンフレットを参照しながら説明)

現在の状況で濃厚接触者になりやすい場としては、会食と家族があります。

会食では3密を避ける、多人数長時間を避ける、飲酒で大騒ぎを避けることでリスクを下げることはできますが、それでも比較的风险は高いです。やはり、話をしながら、飲酒すればだんだん声も大きくなります。そうすると飛沫はかなり飛ぶことになり、では、それを防ぐにはどうすればよいかと考えたとき、できるだけ短時間、少人数、飲酒もほどほどにというのが基本です。また、飛沫が食べ物にも付きますので、大皿をみんなで分けるといったことは避けたほうが良いでしょう。つい立についてもあまり低いものは意味がないと思えます。そのようなことを考えると、いろいろな物のやり取りは避けたほうが良いので、食べ物のやり取りや回し飲みは避けたほうが良いでしょう。

そういったことを気を付けるとしても、会食や飲み会に参加することは、ある程度覚悟は必要になるでしょう。難しいと思えます。

高齢者については、高齢者自身が対策することと同時に、一緒に同居している家族が持ち帰らないというのが大事になります。出かける際はマスクをして、帰ってきたら手を洗うことが大事になります。では、それ以上にやることがあるかというと、例えば家に帰ってきたらすぐにシャワーを浴びたり、買ってきたものをすべて消毒したり、着ていた服から感染するかといったことは心配にはなりますが、今現在、買ってきたものや着ていた服から感染したという報告はされていません。何より、手洗いが重要かと思えます。

ですから、家へ持ち帰らないということは、マスクを活用することと手を洗うということなのです。

スーパーなどに入るときは手指消毒すると思えますが、出る時にも消毒して

いただければと思います。

高齢者が集まって食事をするというのは、今はまだやりにくいと思いますが、お弁当にして一声かけながら、配って歩くという工夫をしているところもあるが、お互いにマスクをした状態で、そこでコミュニケーションをとるというのは、今の段階としてはよい取り組みかなと思います。将来的には、みんなが集まれるような時期を待ちたいと思いますし、みんなが少しでも正しい知識をもって、対策をとりながら活動していただきたいと思います。

責任論で議論しだすと、リスクは絶対ゼロにはならないので、一步も家から出ないのが確かですが、それで失うことは何かということを私は大事にするので、少しでもリスクを下げながら活動を再開することを考えた場合に、今日の話はかなり活動できるということではないかと思います。

成人式については、中央病院に感染症専門の職員もおりますので、またご相談ください。

時間が推してきていますが、お話を伺ってみて、何か持ち帰るものはありましたか。この会議をきっかけに、一步踏み出せたらいいというのが準備委員会のメンバーの思いです。

福祉21では、要請があれば、パンフレットを使って勉強会を開くことができます。特に市内10地区での勉強会は声をかけていただければ関係者ともに行きますので、ぜひご活用ください。

なお、パンフレットは特に著作権等ありませんので、コピーしていただいて構いません。活用いただければありがたいです。

時間の関係で、議論を深めるところまでいかなかったかもしれませんが、個別にお話ししたいことがあれば声をおかけください。

事務局

本日は、市民活動の事例発表、グループワークによって活動再開に向けて、今できることをみんなで考える機会にしようという準備委員会の思いで開催いたしました。

未知のウイルスであったコロナウイルスも本日の正しい知識で、対処方法がわかってきて、どのように付き合っていけばよいか、それぞれの団体の今後に活かせる会議であつたらうれしく思います。

以上をもちまして、本日の会議を終了とさせていただきます。長時間にわたりまして、ご参加いただきありがとうございます。

4 閉会（20時50分）